

新規事業採択時評価結果（平成17年新規着工準備箇所）

担当課：国道・防災課
担当課長名：鈴木 克宗

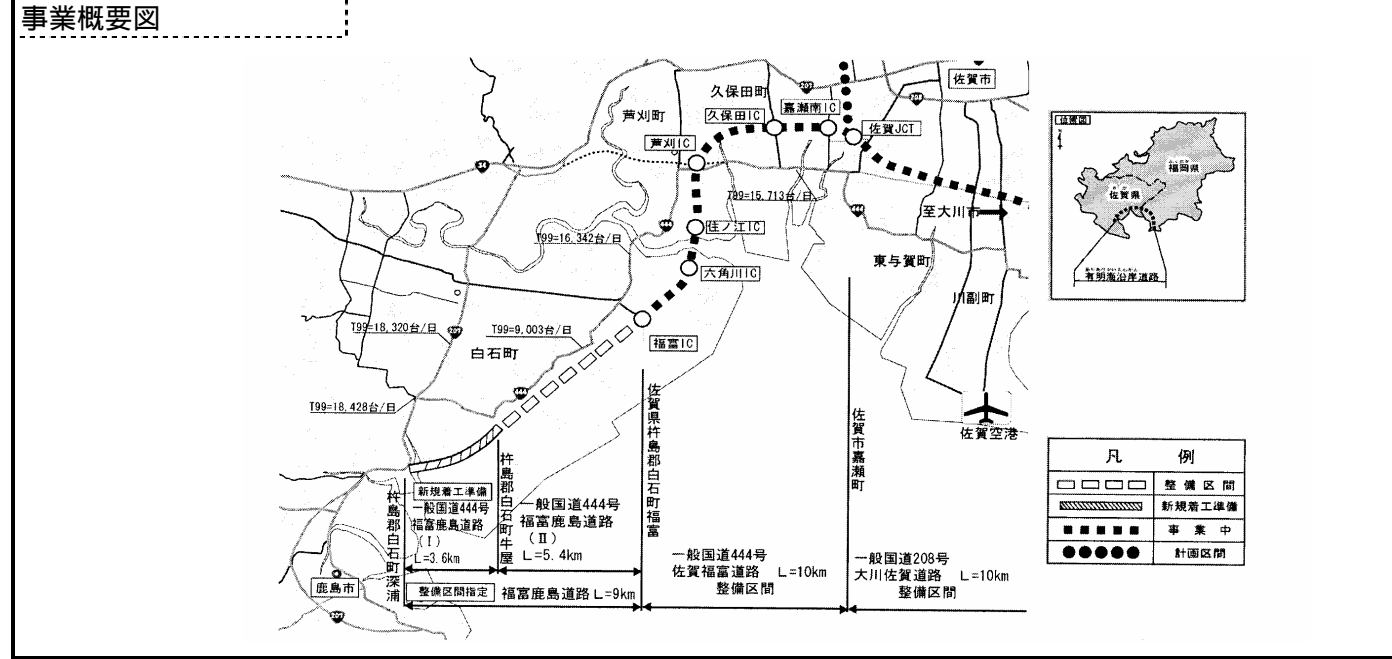
事業の概要

事業名	一般国道444号福富鹿島道路	事業区分	一般国道	事業主体	佐賀県
起終点	自：佐賀県杵島郡白石町牛屋 至：佐賀県杵島郡白石町深浦	延長	3.6km		

事業概要
有明海沿岸道路は大牟田市から佐賀県鹿島市までの有明海沿岸地域の都市と重要港湾三池港や佐賀空港といった交通拠点との連携を強化する交流促進型道路である。分散型県土を形成している本県の発展のために高速定時性が確保できる「広域・高速交通網の整備」を重点施策として位置づけており、本路線は県都佐賀市と県西部地域の主要都市である鹿島市の連携を図る道路としてきわめて重要である。

事業の目的、必要性
一般国道444号は大村市を起点とし、有明海沿岸の市町を経て佐賀郡諸富町で一般国道208号に連結する。白石町区間は交通量が18千台/日、大型車混入率が13%、混雑度が1.75である。曲線半径100m以下の線形不良箇所が2箇所存在し、交通事故が年平均30件発生しており、早期解消が急務である。

全体事業費	120億円	計画交通量	19,700台/日
-------	-------	-------	-----------



関係する地方公共団体等の意見
佐賀市から鹿島市までの沿道市町村による有明海沿岸道路建設促進佐賀県期成会（会長佐賀市長）による要望活動や鹿島市、白石町、太良町、塩田町の役場や商工会、農協等の各種団体からなる有明海沿岸道路・佐賀県南西自動車道建設促進期成会（会長鹿島市長）による要望活動が行われている。

事業採択の前提条件
便益が費用を上回っている
円滑な事業執行の環境が整っている

事業評価結果

費用対便益	B/C	3.7	総費用: 85億円 （事業費: 83億円 維持管理費: 2億円）	総便益: 320億円 （走行時間短縮便益: 274億円 走行費用減少便益: 34億円 交通事故減少便益: 12億円）	基準年 平成16年	
事業の影響	自動車や歩行者への影響	評価項目	評価	根拠		
	自動車や歩行者への影響	渋滞対策	-	注目すべき影響はない。		
	自動車や歩行者への影響	事故対策		交通事故多発区間の事故の減少が見込まれる。 その他の特徴 年間30件以上発生している交通事故の減少		
	自動車や歩行者への影響	歩行空間	-	注目すべき影響はない。		
	社会全体への影響	住民生活		第3種空港へのアクセス向上 （嬉野町・太良町から佐賀空港へのアクセス道路である ：嬉野町～佐賀空港の所要時間76分 65分 太良町～佐賀空港の所要時間77分 64分）		
		地域経済	-	注目すべき影響はない。		
災害			緊急輸送道路を形成 （現道の線形不良箇所(2箇所)が解消され、緊急輸送道路1次の機能確保が図られる）			
環境			Co2排出量の削減 （本区間の整備により自動車からのCo2排出量が3262t/年削減される）			
地域社会		主要な観光地へのアクセス向上 （主要な観光地である祐徳稲荷神社〔観光入込客数260万人〕へのアクセス向上が図られる）				
事業実施環境		有明海沿岸道路建設促進佐賀県期成会、有明海沿岸道路・佐賀県南西自動車道建設促進期成会、有明海沿岸道路西部地区建設促進期成会の積極的な要望活動が行われており、地元の期待も大きい。				

採択の理由

一般国道444号の福富鹿島道路については、費用対便益が3.7と便益が費用を上回っており、また地元の道路整備にかかる期待は大きなものであり事業採択の前提条件は確認できる。
この道路整備は、高速交通網の整備が図られていくものであり、地域間の移動時間短縮による物流の効率化や主要都市間及びその周辺の町村の交流促進・連絡強化に重要な役割を担うものと考えられ、その事業効果は高いものと判断される。
以上より本事業を採択した。

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。